

函館工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	スポーツ科学Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号		0059		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		生産システム工学科		対象学年	3		
開設期		通年		週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員		浦田 清,清野 國安					
到達目標							
各種スポーツの基本的な技術を習得し、動きとして実技の中で実践することができる。また、毎時間授業に出席して、集団の一員としての役割と責任を自覚し、個人や集団の安全に注意しながら練習や試合に集中することができることが到達レベルである。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		標準的な到達レベルの目安に加えて、それぞれのスポーツ種目の基本的技術を実践できる。		授業へ遅刻、欠席、見学することなく、安全に注意し、集中して熱心に授業に取り組むことができる。		遅刻、欠席、見学が比較的多く、授業に集中しない又は熱心に取り組まない。	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 A							
教育方法等							
概要		スポーツを楽しむことができるように、それぞれの種目における基本的な技術についての知識を習得し、動きとして実践し、それをゲームに応用できるようにする。毎時間授業に出席して、集中力をもって積極的に授業に取り組む姿勢が大切である。授業内容は公知の情報のみに限定されている。なお授業内容は公知の情報のみに限定されている。					
授業の進め方・方法		出欠・見学・授業態度（A-2）（70%）、実技試験（A-2）（30%）で前期期末、後期末に評価する。また、次に該当するような授業態度（熱心に取り組まない、指示に従わない、授業におけるルールを守らない、他人に迷惑を掛ける、集団行動を乱す等）があった場合は、程度によって減点する。					
注意点		・健康管理に配慮して、スポーツ実技・試験に参加すること。 ・安全に注意し、集中力を発揮して積極的に授業に取り組むこと。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス スポーツテスト（屋内）		今年度の授業の要点を理解できる 自己の体力水準を把握する		
		2週	ソフトボール		キャッチボールの基本的技術の知識を習得する ゴロとフライの基本的技術の知識を習得する 軽く投げられたボールを正確に打つことの基本的技術の知識を習得する		
		3週	ソフトボール		キャッチボールの基本的技術の知識を習得し実践できる ゴロとフライの基本的技術の知識を習得し実践できる 軽く投げられたボールを正確に打つことの基本的技術の知識を習得し実践できる		
		4週	ソフトボール		キャッチボールの基本的技術の知識を習得し実践できる ゴロとフライの基本的技術の知識を習得し実践できる 軽く投げられたボールを正確に打つことの基本的技術の知識を習得し実践できる		
		5週	ソフトボール		投球、捕球、打撃の基本的技術を用いてゲームができる		
		6週	ソフトボール		投球、捕球、打撃の基本的技術を用いてゲームができる		
		7週	ソフトボール		投球、捕球、打撃の基本的技術を用いてゲームができる		
		8週	ソフトボール		実技試験		
	2ndQ	9週	スポーツテスト（屋外）		自己の体力水準を把握する		
		10週	卓球		卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し実践できる		
		11週	卓球		卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し実践できる		
		12週	卓球		卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し実践できる		
		13週	卓球		卓球の基本技術を用いてシングルス及びダブルスのゲームができる		
		14週	卓球		卓球の基本技術を用いてシングルス及びダブルスのゲームができる		
		15週					
		16週	卓球		卓球の基本技術を用いてシングルス及びダブルスのゲームができる		
後期	3rdQ	1週	卓球		実技試験		

		2週	ゴルフ	セットアップ（クラブの握り方、姿勢、打つ方向）の基本的技術の知識を習得し、実践できる スイング（腕の振り、腕のひねり、体の捻転）における基本的技術の知識を習得し、実践できる
		3週	ゴルフ	セットアップ（クラブの握り方、姿勢、打つ方向）の基本的技術の知識を習得し、実践できる スイング（腕の振り、腕のひねり、体の捻転）における基本的技術の知識を習得し、実践できる
		4週	ゴルフ	セットアップスイングの基本的技術を基に、インパクトゾーンにおけるスイングについての基本的技術の知識を習得し、実践できる
		5週	ゴルフ	セットアップスイングの基本的技術を基に、インパクトゾーンにおけるスイングについての基本的技術の知識を習得し、実践できる
		6週	ゴルフ	インパクトゾーンにおけるスイングを基に、フルスイングができる
		7週	ゴルフ	インパクトゾーンにおけるスイングを基に、フルスイングができる
		8週	ゴルフ	実技試験
	4thQ	9週	バドミントン	ラケットの握り方、リストワークの基本的技術の知識を習得する ラケットの握り方、リストワークの基本的技術を実践できる オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークができる
		10週	バドミントン	オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークができる ロングハイサーブができる ハイクリアーができる
		11週	バドミントン	オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークなどの基本的技術を用いて、シングルス及びダブルスのゲームができる
		12週	バドミントン	オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークなどの基本的技術を用いて、シングルス及びダブルスのゲームができる
		13週	バドミントン	オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークなどの基本的技術を用いて、シングルス及びダブルスのゲームができる 実技試験
		14週	バドミントン	オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークなどの基本的技術を用いて、シングルス及びダブルスのゲームができる
		15週		
		16週	バドミントン	実技試験

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	実技試験	出欠・見学・授業態度	相互評価	合計	
総合評価割合	30	70	0	100	
基礎的能力	30	70	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	